

北海道浮魚ニュース

平成12(2000)年度3号 (通巻 No.73)

2000年7月5日

北海道立中央水産試験場	Tel : 0135-23-8707	Fax : 0135-23-8709
釧路水産試験場	Tel : 0154-23-6221	Fax : 0154-23-6225
函館水産試験場	Tel : 0138-57-5998	Fax : 0138-57-5991
稚内水産試験場	Tel : 0162-32-7177	Fax : 0162-32-7171
網走水産試験場	Tel : 0152-43-4591	Fax : 0152-43-4593

道東太平洋マサバ・マイワシ漁期前調査結果

北辰丸(釧路水産試験場調査船)によって行われたマサバ・マイワシ漁期前調査の結果をお知らせします。

調査期間：2000年6月19日～29日

調査海域および調査点：道東～三陸沖太平洋(北緯40度00分～42度10分、東経143度10分～146度00分)における6調査点(図1)

調査方法：9種類の目合(22mm～82mm)の流し網を用いた漁獲試験

漁獲試験を行った6調査点の表面水温は12.7～16.4、100m層水温は0.7～7.9でした。漁獲試験の結果は図1のとおりで、流し網調査1回当たりの漁獲尾数(CPUE)の経年変化は図2のとおりです。

サバ類(マサバ、ゴマサバ)は漁獲されませんでした。

マイワシは、3調査点で1～8尾、合計11尾漁獲されました。CPUEは1.8尾/回で、前年の75.2尾/回を下回り、近年の中では低い水準でした。魚体は体長13～21cm台でした。

カタクチイワシは、5調査点で1～7,975尾、合計10,811尾漁獲されました。CPUEは1,801.8尾/回で、前年の3,682.6尾/回を下回りましたが、近年の高い水準を維持していました。魚体は体長13cm前後が主体でした。

サンマは、4調査点で2～31尾、合計50尾漁獲されました。CPUEは8.3尾/回で、前年の1.4尾/回を上回りましたが、近年の中では低い水準でした。

スルメイカは、全調査点で1～49尾、合計114尾漁獲されました。CPUEは19.0尾/回で、前年の4.0尾/回を上回り、近年の中ではやや高い水準でした。

アカイカは、1調査点で8尾漁獲されました。CPUEは1.3尾/回で前年の11.4尾/回を下回り、近年の中では低い水準でした。

来る7月12～13日に、中央水産研究所黒潮研究部(高知市)で長期漁海況予報会議が開催され、今回の調査結果を含めた各機関の資料を基に、漁況予報が発表される予定です。

(文責：釧路水試資源管理部
直通電話0154-23-6222)

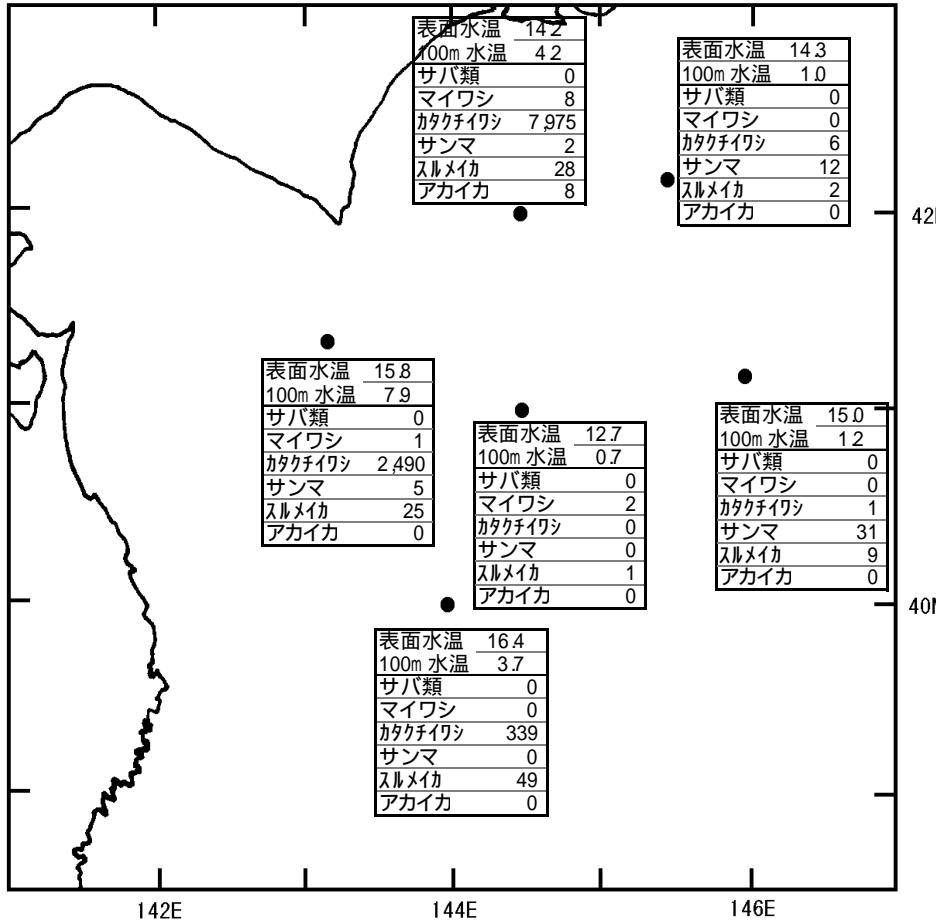


図1 漁獲試験調査点と表面水温および魚種別採集尾数

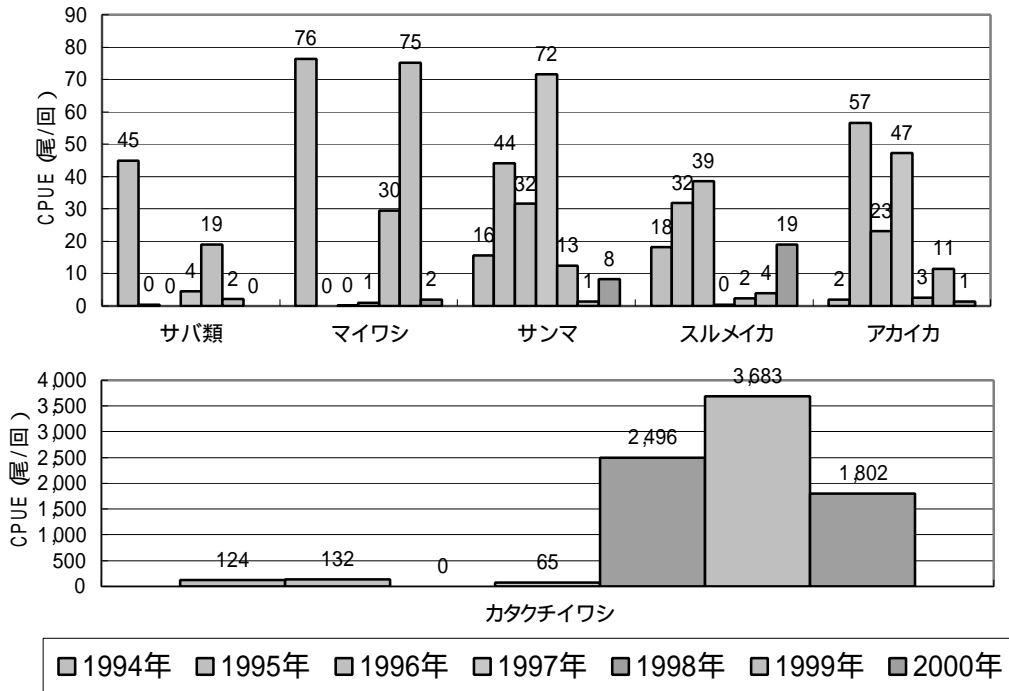


図2 漁期前調査における魚種別CPUEの経年変化